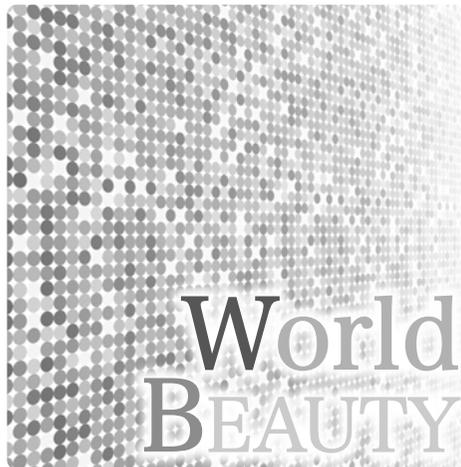


ワールド・ビューティー・オープン (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2023年12月12日～2024年6月10日

第 14 期 決算日：2024年6月10日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第14期末 (2024年6月10日)

基準価額	10,000円
純資産総額	21,408百万円
騰落率	+ 9.2%
分配金合計 ^(*)	697円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

期間の初めから2024年3月末にかけては、米利下げ期待の後退などによる米長期金利の上昇が逆風となりましたが、AI（人工知能）の需要拡大が期待されたことを受け、半導体関連株を中心に株価は上昇基調となりました。その後、4月に入ってから米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回ったことなどから、米利下げ期待が後退し株価は下落に転じました。5月以降、米長期金利の上昇が一服したことや、米半導体大手をはじめとする堅調な企業決算が下支えとなり、株価は反発しました。

当期間はAIや半導体関連など大手ハイテク株が株式市場の上昇を主導する相場展開でした。消費関連やディフェンシブ性の高い銘柄群が総じて軟調だったことが、ビューティー・ビジネス関連銘柄にマイナスに影響しました。

運用のポイント

高いブランド力と、ラグジュアリーブランド化粧品事業での成長も期待される「HERMES INTERNATIONAL」を新規に組み入れました。化粧品は同社のブランドイメージを表現しやすく、またバッグなどに比べて手の届きやすい価格帯のため、新たな顧客にブランドをアピールするツールとしても優れています。同事業の積極展開は、他事業にもプラスの影響をもたらすと考えています。また、世界的な高いブランド力や成長性などを重視し、引

き続き「COTY INC-CL A」、「LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI」などの欧米有力化粧品メーカーの上位組み入れを維持しました。

運用環境の見直しおよび今後の運用方針

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向け商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。足元のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は今年に入ってから堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと組み入れていきたいと考えています。



株式運用部
ファンドマネージャー

秋元 政隆 西 直人 柳原 武士 飯田 太郎 小島 直人 安井 陽一郎

運用経過

第14期：2023年12月12日～2024年6月10日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第14期首	9,799円
第14期末	10,000円
既払分配金	697円
騰落率	9.2%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄（L'OCCITANE INTERNATIONAL SA、COLGATE-PALMOLIVE CO、PROCTER & GAMBLE CO/THE）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。
円に対して米ドルやユーロなどが上昇したことが、プラスに寄与しました。

2023年12月12日～2024年6月10日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	94	0.897	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(46)	(0.437)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0.437)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.054	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(6)	(0.054)	
(c) 有価証券取引税	2	0.017	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.017)	
(d) その他費用	1	0.010	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	103	0.978	

期中の平均基準価額は、10,466円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

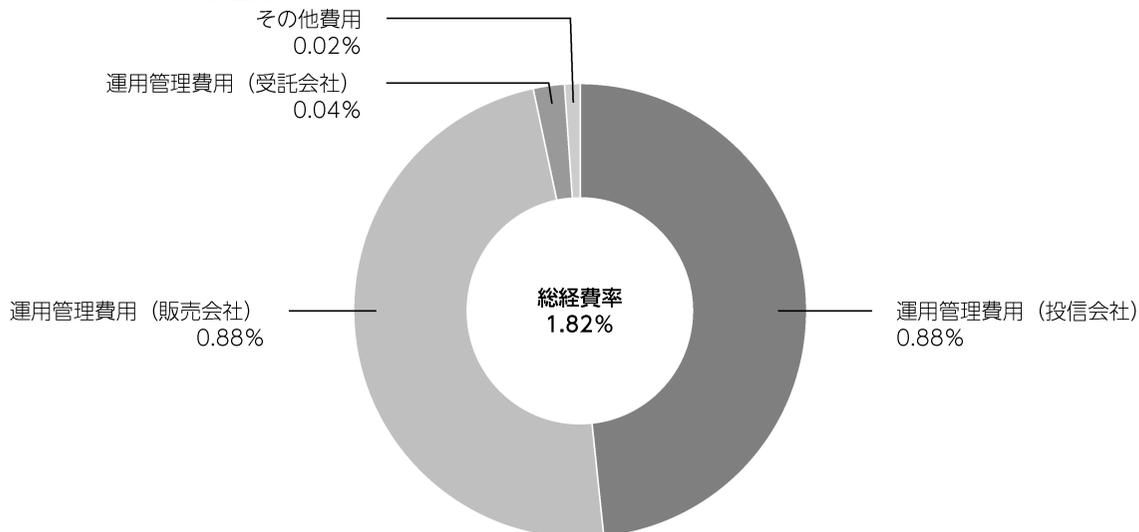
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.82%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

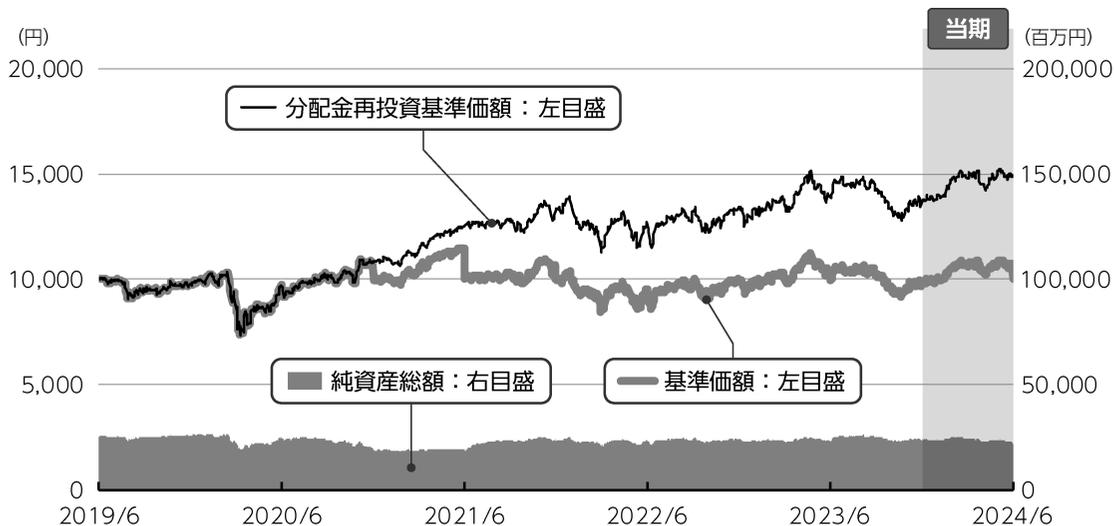
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年6月10日～2024年6月10日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2019年6月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

		2019/6/10 期初	2020/6/9 決算日	2021/6/9 決算日	2022/6/9 決算日	2023/6/9 決算日	2024/6/10 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,610	10,000	9,530	10,000	10,000
期間分配金合計 (税込み)	(円)	—	0	2,352	716	419	697
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	-3.9	29.9	2.1	9.3	7.0
純資産総額	(百万円)	25,326	24,636	16,924	23,564	22,536	21,408

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第14期：2023年12月12日～2024年6月10日

投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は上昇しました。

期間の初めから2024年3月末にかけては、米利下げ期待の後退などによる米長期金利の上昇が逆風となりましたが、AI（人工知能）の需要拡大が期待されたことを受け、半導体関連株を中心に株価は上昇基調となりました。その後、4月に入ってから米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を上回ったこと

などから、米利下げ期待が後退し株価は下落に転じました。5月以降、米長期金利の上昇が一服したことや、米半導体大手をはじめとする堅調な企業決算が支えとなり、株価は反発しました。

▶ 為替市況

円に対して米ドル、ユーロは上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジなし）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。

通貨別では、日本円などの比率を引き上げた一方、米ドルや香港ドルなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、期間の初めの35銘柄から期間末は34銘柄となりました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「新興国」、「潜在的な需要の掘り起こし」、「プレミアム化」などに着目した運用を行いました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

高いブランド力と、ラグジュアリーブランド化粧品事業での成長も期待される「HERMES INTERNATIONAL」を新規に組み入れました。高いブランド力を誇る企業の成長性や、近年買収した複数ブランドのグローバル展開などを期待し保有していましたが、2024年4月に株式の非上場化を発表した「L'OCCITANE INTERNATIONAL SA」を全売却しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第14期
	2023年12月12日～2024年6月10日
当期分配金（対基準価額比率）	697 (6.516%)
当期の収益	651
当期の収益以外	45
翌期繰越分配対象額	325

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジなし）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場を支えるビューティー関連消費は非常に安定的なものです。美しくなりたいという「美の追求」は、世界中の老若男女共通であり、その根源的な欲求が需要を支えているわけですが、様々な成長ドライバーも存在します。新興国における中間層の台頭によって、より多くの人々がビューティーを楽しむことができるようになることは、ビューティー市場の裾野を広げます。また、男性向け化粧品市場の拡大や、これまで使用率が低かったフレグランス需要の拡大などは、ビューティー市場における潜在的な需要を掘り起こします。さらに、より高い効果効能が求められるアンチエイジング向けやダーマコスメ商品の開発や、パーソナライズされたビューティーケアなどは、プレミアム化を通じてビューティー市場の拡大に寄与します。こうした様々なドライバーがビューティー市場の中長期の成長を高めるものと期待しています。

特定の肌の悩みを持つ人への価値提案を指すダーマケアは、多くの化粧品メーカーが注目している市場です。現在、肌の悩みを抱えている人が世界に約20億人もいとされています。今後、高齢化や大気汚染、ストレスなど肌トラブルを引き起こす要因が増えることで、肌への悩みも増えると考えられます。そのため肌の悩みに合わせたダーマトロジー（皮膚科学）に基づく化粧品（ダーマコスメ）は、ビューティー市場において成長が見込まれる領域と考えています。例えば、ロレアル社は2023年、主要4事業セグメントの1つである「アクティブコスメティックス」の事業セグメントの名称を「ダーマトロジカルビューティ」に変更しました。事業セグメントの名称にはその会社の想いや戦略が込められていることが多く、ロレアル社がダーマコスメを中長期で推進していく想いが伝わってきます。ロレアル社のダーマコスメの主力ブランドであるCeraVeとラロッシュポゼは、いずれも年間売上高が10億ユーロを超えており、足元でも高い成長が続いています。日本でも、2023年に資生堂のdプログラムやロート製薬のプロメディアルが、ブランドのリブランディングやリニューアルをして活性化を図ったり、ロート製薬がダーマセプトRXという新ブランドを

立ち上げたり、花王のキュレルは新商品発売などで主力のスキンケアやヘアケアを強化しつつ、加えて衣料用柔軟剤を発売するなど乾燥性敏感肌向けのトータルブランドへと歩みを進めたりと、多くの化粧品メーカーが力を入れている領域です。さらに、ダーマコスメではその効果効能や機能が重視されるため、以前に増して素材メーカーの存在感の高まりや、美容医療や再生医療などの領域への広がりも期待できるなど、裾野の広い成長領域として今後も注目していきたいと考えています。

株式市況について、足元のようにAIや半導体が注目される局面では、世界株式市場に対して当ファンドのパフォーマンスが劣化する局面はあるかもしれませんが、それはビューティー市場の魅力に変化があったことを示しているわけではありません。ビューティー市場自体は足元でも堅調に伸びていますし、今後の成長ドライバーも多く存在するため、中長期的に安定した成長が見込める市場だと考えています。引き続き、こうした魅力的な市場の恩恵を受けられる銘柄をしっかりと発掘していきたいと考えています。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

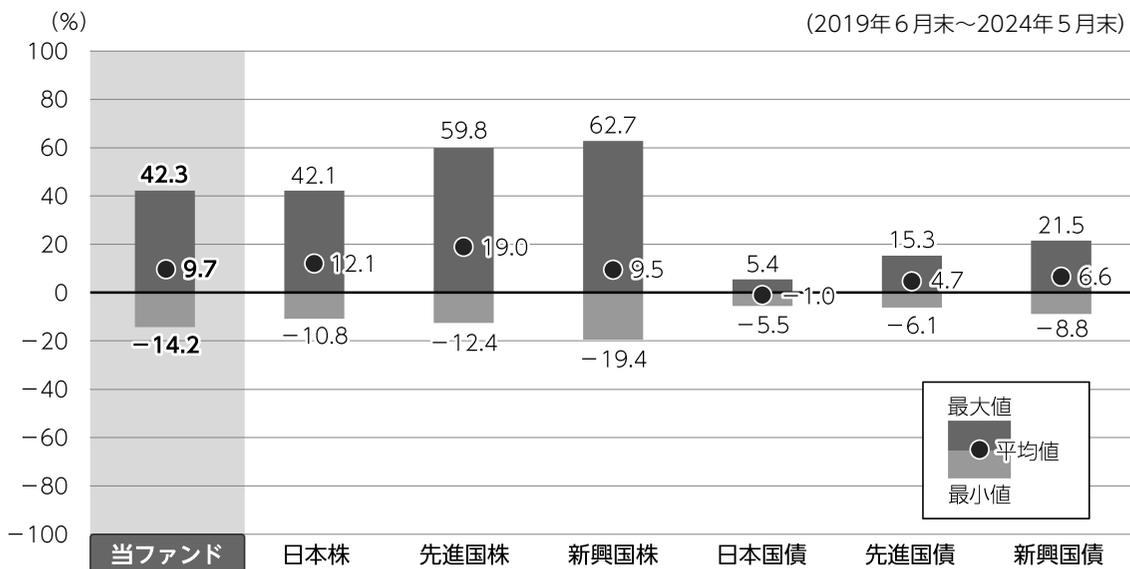
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	無期限（2017年7月31日設定）
運用方針	<p>ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■ワールド・ビューティー・マザーファンド 日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	<p>日本を含む世界各国の株式を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年6月から2024年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2024年6月10日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	第14期末 2024年6月10日
ワールド・ビューティー・マザーファンド	94.4%

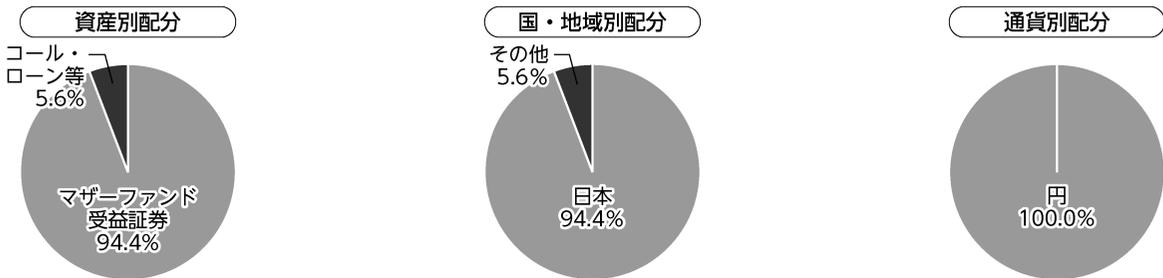
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

項目	第14期末 2024年6月10日
純資産総額 (円)	21,408,057,375
受益権口数 (口)	21,407,912,397
1万口当たり基準価額 (円)	10,000

※当期中において追加設定元本は1,156,609,921円
同解約元本は 4,122,536,261円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

291369

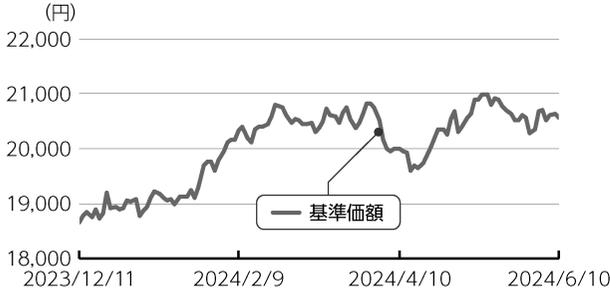
2024年6月10日現在

組入上位ファンドの概要

ワールド・ビューティー・マザーファンド

基準価額の推移

2023年12月11日～2024年6月10日



1万口当たりの費用明細

2023年12月12日～2024年6月10日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株 式)	11 (11)	0.055 (0.055)
(b)有価証券取引税 (株 式)	3 (3)	0.017 (0.017)
(c)その他費用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.008 (0.008)
合計	16	0.080

期中の平均基準価額は、20,050円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：34銘柄)

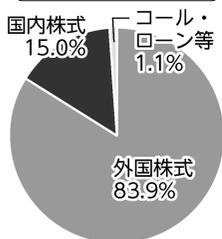
	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	株式	フランス	耐久消費財・アパレル	6.3
2	COTY INC-CL A	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	5.3
3	UNILEVER PLC	株式	イギリス	家庭用品・パーソナル用品	4.7
4	L'OREAL	株式	フランス	家庭用品・パーソナル用品	4.7
5	ULTA BEAUTY INC	株式	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	4.7
6	PROCTER & GAMBLE CO/THE	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	4.5
7	ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	4.4
8	BEIERSDORF AG	株式	ドイツ	家庭用品・パーソナル用品	4.4
9	COLGATE-PALMOLIVE CO	株式	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	4.1
10	資生堂	株式	日本	化学	3.6

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

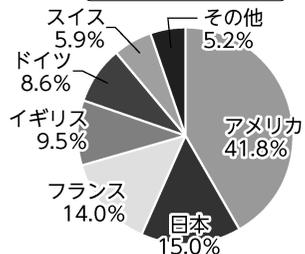
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

種別構成等

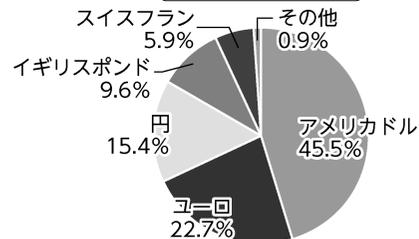
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
※原則、国・地域については、法人登録地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント